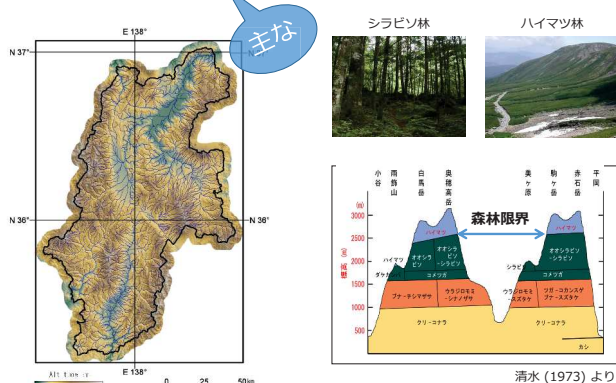


目次

1. 信州の高山植物・高山帯
2. 世界から見た信州の高山植物
3. 信州 高山植物のホットスポットはどこ？

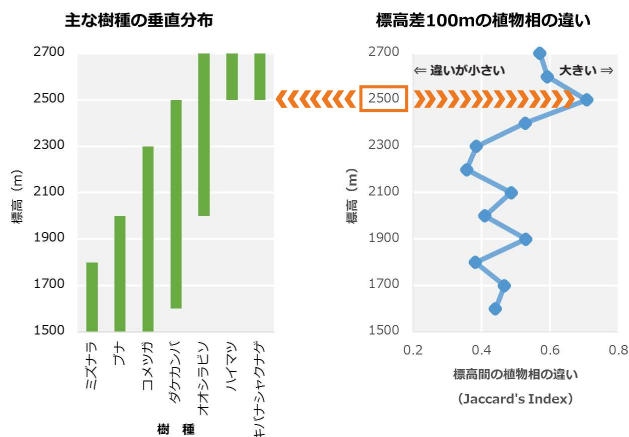
高山植物とは？

高山植物：高山帯を住み処とする植物たち



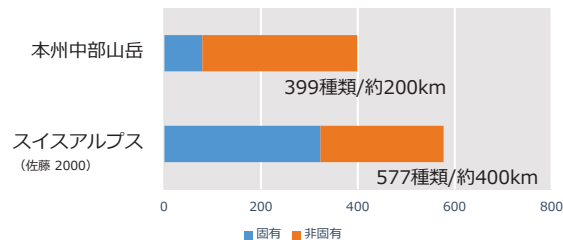
植物の垂直分布：北アルプス 爺ヶ岳 (柏原新道治)

高山帯で劇的に植物相・植生が変化



世界から見た信州の高山

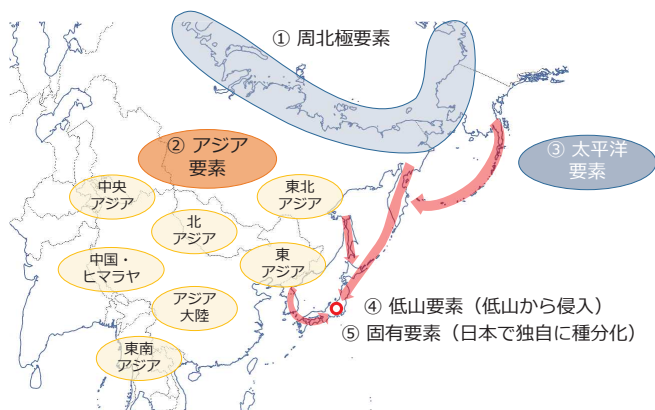
本州中部山岳とスイスアルプスの高山植物の種類数



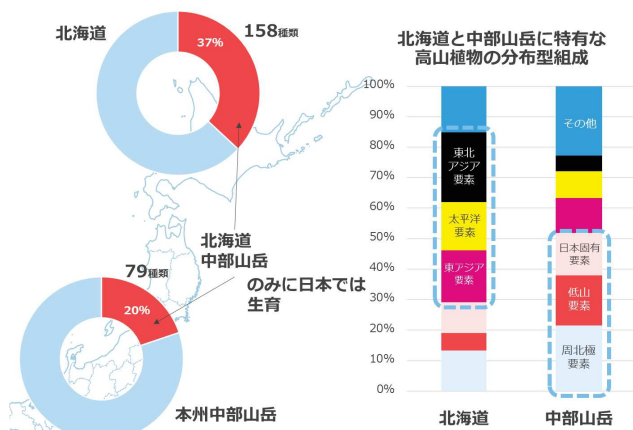
信州の山に高山植物があること、しかもその多様性が高いことは、世界的に見るととても不思議
 = 信州の山、高山植物の特徴であり魅力

高山植物の生い立ち：主に北方由来だけど・・・

中部山岳の高山植物：周北極要素 + 様々な要素が複合



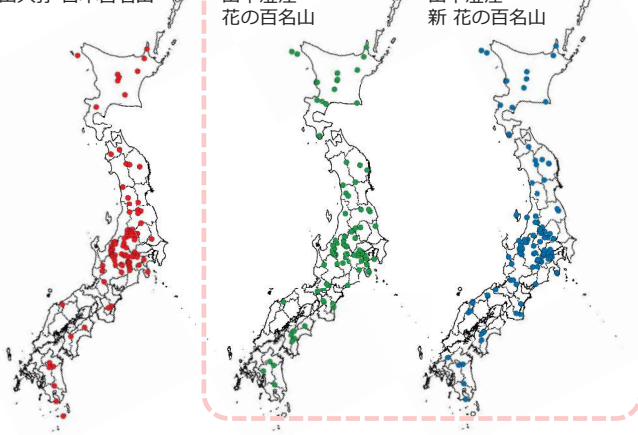
本州中部山岳の高山植物相の特徴 (清水 1982・1983を基にして)



深田久弥 日本百名山

田中澄江
花の百名山

田中澄江
新花の百名山

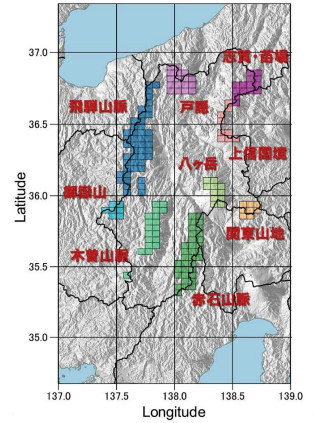


●対象：本州中部山岳のうち
の長野県域。高山植物は、
清水（1982・1983）に準拠。

●分布情報：44,014件

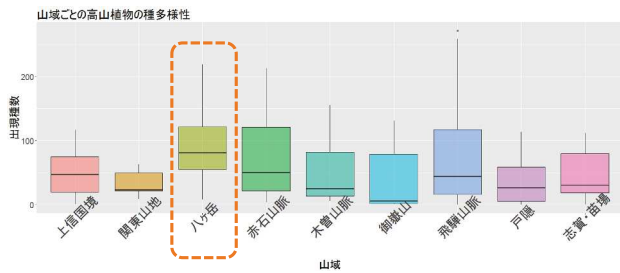
●高山帯での植生調査資料、
「長野県植物誌」データ
ベース、長野県環境保全研
究所の標本記録、環境省に
よる植生調査資料

●分布情報を5倍地域メッシュ
（一辺約5km）に集約



山域ごとの高山植物の種多様性

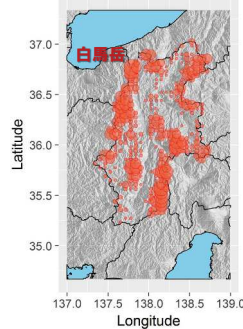
- 対象地域614メッシュでは、379分類群の高山植物を確認
- 山域単位の出現種数の中央値では八ヶ岳が最も高く、以下、赤石山脈、飛騨山脈の順



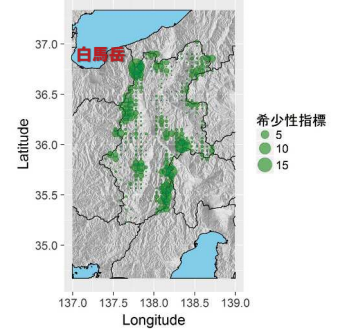
山岳ごとの高山植物の種多様性

- 山岳単位の出現種数・希少性指標ともに飛騨山脈
白馬岳周辺（白馬連山）が最多

高山植物の種多様性の空間分布



希少性指標の空間分布

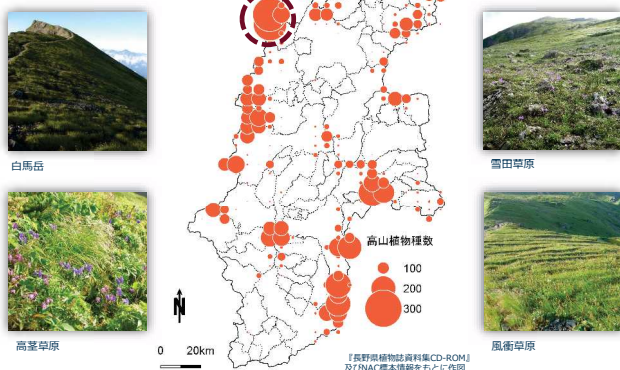


多様性からみた信州・花の名山

信州の高山植物多様性と地質のつながり

第1位：白馬連山 ⇒ 高山植物多様性ホットスポット

① 白馬連山
（白馬岳周辺）



信州の山々の複雑な地質・地形に支えられた高山植生

